

VOICE

感動 浪漫 夢

POWER PEOPLE



INDEX

- 2006年度 各委員会 報告 1P~2P
- 2007年度 理事長所信、各委員長 基本方針 3P~4P
- 2007年度 会員紹介 5P~6P

2007
January

IIZUKA
Junior Chamber NEWS vol.50

例会委員会

今年度の例会委員会では、毎年重視されている出席率の向上を目的とせず、メンバーの皆様には「チョットでも得をしてもらえるアワー作り」を目的に1年間委員会活動を行いました。

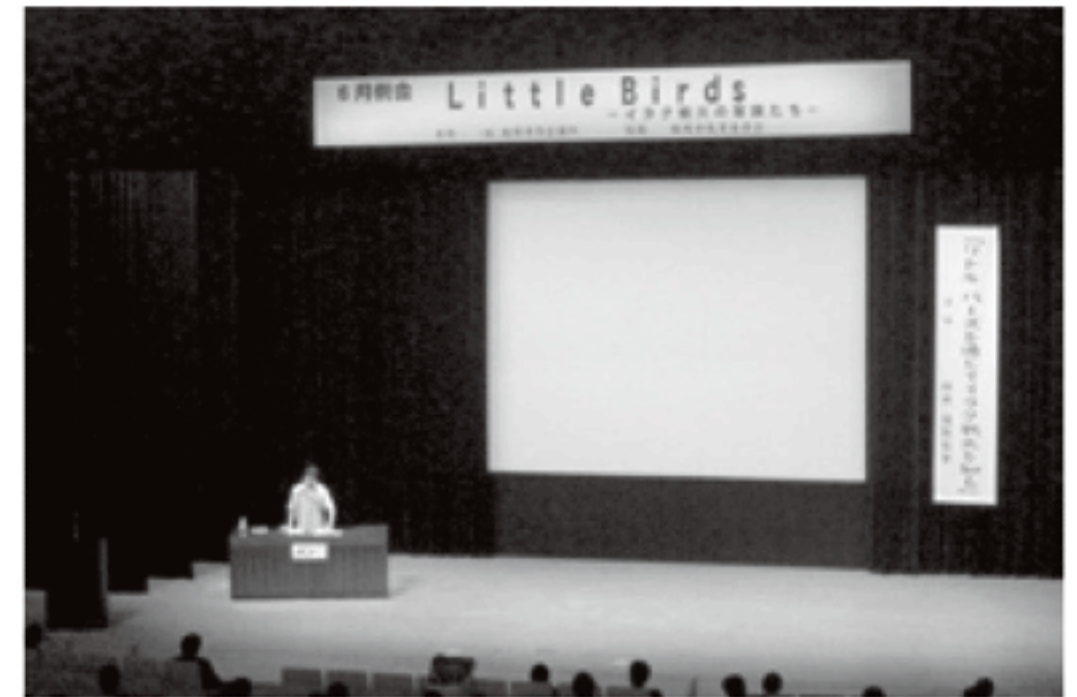
まずは、メンバーの皆様が例会でどのような内容を希望しているかアンケートを行い、この内容と例会メンバーがやりたい事を基に、メンバーに担当月を決めることで、例会メンバー9名の個性を活かし、年間を通してチョットでも得をしてもらえる企画を心掛けながら実践しました。始めに、委員長である私が1月から6月までアンケートを基に例会を担当いたしました後は「例会に対する思い入れ」「期日までにメンバーに対して有意義な事業を作り上げなければいけない構成能力と責任感」そして「理事会に出席し理事会運営の経験と発言能力の向上」これらを目的に、7月からは例会メンバーに担当してもらいました。この目的を熟知し乗り切った担当メンバーが構成した例会と、アンケートを基に構成した例会はメンバーの皆様にとって満足いく例会になったのではと思います。

また、例年12月には例会を開催していませんでしたが、今年度は定款に基づき例会を開催することにいたしました。この12月例会を開催する上で忘年会の後に例会を開催することは適切ではないと判断して、例年行われている忘年会の式典の部を、例会で担当することにいたしました。今回、この式典の部を担当してみても毎年12月に例会を行わなかったかという理由が私なりに理解することが出来ました。月一度開催し全メンバーが集う例会の目的は、メンバー間の交流及び意思の疎通を図ることと、各メンバーの活動報告が出来る場だと思えます。このことを踏まえて考えれば、忘年会の式典の部で行っている在籍10年・15年・20年・100%出席表彰、出向者報告、福岡ブロックアカデミー卒業証書授与を行うことは、まさに例会の基本となる形だったからではないかと思えます。

次に、前例会委員長であった坂口監事が「みんなの例会」であると昨年、全メンバーに意識付けを行ってくださったこともあり、31年間で初めて1月から11月までの平均出席率が70%を超える事が出来、これもメンバーの皆様のご協力があったからこそだと思感謝しております。

最後に、私自身の見解となりますが、例会ほどメンバー同士が一つになりやすい委員会はないと思えます。上記にも述べたとおり、メンバー一人ひとりに例会を担当してもらい、同じ立場に身を置くことで互いの気持ちの分り助け合うことが出来るからです。この1年間で私たち委員会は、理事長所信である「絆」出合いに感謝を心から感じ取れることが出来たと確信しています。また、例会委員会の委員長という貴重な経験をさせて頂きました林田理事長・室井専務、この1年間励ましのお言葉やご協力を頂いた理事メンバーの皆様、親身になってご協力頂いた田中室長、そして、私と共に最後まで遊んで頂いた森副委員長はじめ山室君・今井さん・岡村さん・大村さん・下川さん・江口さん、宗高君の例会メンバーの皆様、本当に感謝しています。ありがとうございました。この絆を大切に、今後の(社)飯塚青年会議所の発展のため微力ながら尽くしていくことをお約束して所感とさせていただきます。

例会委員会 委員長 多田 勉



国際交流委員会

本年度、国際交流委員会委員長を拝命し、異文化交流・国際貢献、台東JC訪問の2つの大きなテーマをやらせて頂きました。

まず台東JC訪問ですが、2泊3日総勢10名で台東に訪問した訳ですが、言葉も文化も違う私たちにこんなにもと思うほど盛大、かつ心のこもったおもてなしをして頂きました。これまでの交流から一歩踏み込んだ「絆」が築けたと思えます。

もうひとつは異文化交流・国際貢献ですが、KIZUNA THE WORLD、歴史に見る世界と日本の絆事業を行い、現在、過去、未来の世界情勢や外国人とのコミュニケーションなどを勉強した内容でした。今後、皆さんは青年経済人として、地域のリーダーを目指すものとしてワールドワイドな視点で物事を見なければならぬと思えますが、こういった事業がきっかけになったのではないかと思います。

そして、この筑豊でも、国際交流というのは以前よりもっと重要になってきていると思えます。JCとして、Jayceeとして継続することに意義があると感じた1年でした。そして1年間これらの事業を行う上で、同じ思いを共有できた谷口副委員長や委員会メンバーにはいろいろ迷惑かけたと思えます。とても感謝しています。1年間ありがとう。これからもよろしく!

国際交流委員会 委員長 薦田 豊彦



会員交流委員会

委員会が本格スタートする3ヶ月前から新年会の準備が始まり、最後に大忘年会、事業報告と、1年間フル活動の委員会でした。思い起こせば、何から手を付けていけばよいか分からず、とにかく出来ることから始めようと、委員会メンバーで何度も夜遅くまで議論し、来賓及びシニアに対して失礼がないか、喜んでいただけるかどうかと細かい部分まで気を配り何とかやり遂げた新年会。前日から徹夜のメンバーが多く、がんばってやり遂げた達成感を味わいました。

創立記念では、「嘉麻の里ものがたり」と題して、嘉麻の里という言葉はどこから出てきたのか、及び現在までの青年会議所と嘉麻の里のダイジェストを、卒業された先輩方をビデオ取材し、映像ストーリーを公開しました。実際に作り上げていくうちに、嘉麻の里のネーミングの由来から、「嘉麻の里はひとつ」を合言葉で活動してこられた内容に感銘を受け、私たち自身が大変勉強になりました。映像を公開したあとに、シニアの方々から、「自分たちの活動の軌跡と引き継がれてきた気持ちを良くあらわしてくれた」とたくさんのねぎらいのお言葉をいただきました。大変な作業でしたが、楽しい事業でした。

大忘年会・卒業式では、卒業生に良い思い出を持って卒業していただきたく、白鳥の衣装を着てハンドベルで演奏していただきました。快く白鳥の衣装を着ていただきありがとうございました。

1年間、メンバー一丸となって、メンバー同士の深い絆が出来ました。最後まで付いてきていただいた委員会メンバー全員に大変感謝しております。たいへんな1年間でしたが良い経験を与えていただいたことに深く感謝いたします。ありがとうございました。

会員交流委員会 委員長 有田 栄公



2007年度 スローガン

感動 浪漫 夢

POWER PEOPLE

雨ニモ風ニモ負ケズ
美シキ我が故郷の創造
全ては光り輝く未来の為に



(社)飯塚青年会議所
第54代 理事長
内藤 修也

ブロック会員大会誘致特別室 特別室長 田中 堅治



創立より54周年を迎える(社)飯塚青年会議所は、長い歴史と伝統を持ち、今も多くの諸先輩方に支えられています。現会員はその志を継承しようとする中、地域活性の為、日々努力をしています。低迷している経済状況の中、「人材こそ全ての礎」とここ数年来の会員拡大の努力の結果、総会員数100名に近づこうとしている(社)飯塚青年会議所は、今活気に満ち溢れつつあります。反面、入会年数3年未満の会員が多数を占め、様々な経験が不足している感否めません。次代を担う我々青年はまさに活力を、人に勇気を与え、はつらつとした活動を興し続ける必要があるのです。そこで当ブロック会員大会誘致特別室では、会員一人ひとりがPOWER PEOPLEとなるべく、2008年度第36回福岡ブロック会員大会の主管をし、誘致活動を行います。そうすることで、(社)飯塚青年会議所創立55周年を盛り上げるだけでなく、会員の絆を強め、また福岡ブロック協議会が身近な存在になり、新たな地域での様々な事業や活動に活かされてくるものと思います。市民町民の皆様との関わり、行政との連携など様々な課題がありますが、それを成し遂げることで(社)飯塚青年会議所の存在意義を深め、また活性化にもつなげるために20年ぶりに福岡ブロック会員大会主管立候補をし、この地に誘致活動を大胆に興し、大成功へと導きます。

光輝く未来特別室 委員長 中野 良一



私達(社)飯塚青年会議所は、来年創立55周年を迎えます。一口に55周年と言ってもそこには、地域の方々、私達の先輩方が築かれてきた礎のもとに成り立っています。私は、今の(社)飯塚青年会議所を一つの木だと考えます。初めは小さい芽だった物も先輩方がJCの三信条の下地域の方々と共に協力し、まちづくり、ひとつひとつ運動をされた功績で今の大きな木があると考えます。私達は今の先輩方がこの私達の故郷に植えられた木を枯らすことなく、更なる大木となるべく、成長させていかなければなりません。目まぐるしく変化していく時代の中で、時代の流れに沿いながらも、JCとして地域の方々と共に手をとり、故郷を良くしようとする志をもった多くのPOWER PEOPLEが出来るよう頑張っています。その為には55周年も一つの通過点とし更なる60周年、100周年へと繋げていきます。そして私達は、光り輝く未来の為に新たな故郷の特性を活かした地域興しの事業を行います。

例会委員会 委員長 國米 征吾



「例会とはJC活動に於ける基本である」この言葉は(社)飯塚青年会議所に入会して、何度も聞いてきた言葉です。そしてそれは会員の半数以上が入会3年未満という、現在の(社)飯塚青年会議所にとって、とても大切な言葉だと私自身実感しています。そこで本年度の例会委員会では、まずはメンバーがJCを知り興味を持つ事。それにより今後我々が、LOM内外に関らず活発な発言・行動が出来、活気溢れるLOMになる為の例会創りを目指します。更にはJCに留まらず、私たちの住むこのまちを深く理解する事。そして愛すべきこのまちの未来の為に何が出来るかを考える事で、メンバーに【気づき】を投げ掛ける事に学びます。

また例会は世代・業種・環境の異なる者同士が、一堂に会する大切な機会です。この機会を利用して、有効に活かすために魅力ある企画・運営はもちろん広報も積極的にを行い、「例会に来てよかった」と皆が思える例会創りに、委員会メンバー一丸となって邁進いたします。全ては我々(社)飯塚青年会議所がより深く、志を同じうする【仲間】になる為に…

三大行事委員会 委員長 今井 光



今年、(社)飯塚青年会議所は54周年を迎えます。来年の創立55周年、また2008年度福岡ブロック会員大会開催の成功の為にLOMのさらなる「団結力」が必要になってきます。LOMのメンバー一人ひとりが輝いてこそ本当の意味でLOMが輝きます。本年度、当委員会は三大行事(新年会、創立記念、忘年会)を行います。新年会においては、先輩諸氏・地域の皆様・他LOMの数多くの仲間達と交流を深めるとともに、今年1年間の(社)飯塚青年会議所の方向性をアピールする。また、今年第1回目のこの事業を成功しLOM内の団結をはかる。

創立記念においては、シニアとの交流を深め今日までの53年間の先輩方の功績・JC魂を再認識し創立55周年の成功へ向け団結する。忘年会においては、卒業生の方のこれまでのJC活動を称え感謝し、またメンバー1年間の協力があったJC活動を称えあい次年度につながるものとする。この三大行事を通じて一人ひとりが輝き、さらに飯塚JCが輝くことを目指します。偶然にもこの時代に生まれ、この日本という国に生まれ、この同じ地に住み(社)飯塚青年会議所に所属し活動するメンバーを「尊敬・信頼」し、共に1年間同じ「風」を感じながら駆けぬげたいと思います。

大いなる夢をもって
大いなる浪漫と情け
大いなる感動へと導いてくれる
大いなる夢もなく
大いなる浪漫もなければ
真の行動も興えないだろう
POWER PEOPLE 青年は青年らしく
若くはつらつと行動と興し
いつまでもいつまでも住みたいなるまら
遠く故郷を離れても最後の最後まで
思いが暮るまら・・・
故郷創造 それが青年の使命です

J Cへ感謝
21世紀目前の1999年に(社)飯塚青年会議所へ入会させて頂き、以来私自身7年間JC活動に没頭し続け、多くの人と出会い、多くの事を体感し、多くの事を学び、多くの事に気づかされました。JCは皆に平等にチャンスがあり、多くの宝物が転がっています。しかしながら少し無理を惜まないひとつも捨つ事が出来ません。これまで53年間という長い歴史と伝統を築き上げられた先輩諸氏に感謝し、全ては光り輝く未来につながる行動だと信じ、これからもJC活動を邁進し続けます。

POWER PEOPLE
夢や浪漫をもってこそ人である。自ら足を一歩前へ出せる人、人の痛みが解かる人、礼節を重んじ、常に足元を照らし積極的に前へ進む人こそPOWER PEOPLEである。人には無限のPOWERがあり、誰もがPOWER PEOPLEになりうるのです。自らの限界を深さず無限の可能性にチャレンジしよう。光り輝く未来には無限の可能性が秘めています。大勢のPOWER PEOPLEが暮らす故郷はどれだけ光り輝いている事でしょう・・・

光り輝く未来の為に
「飯塚山はひとつ」をスローガンとし、長年(社)飯塚青年会議所は行動してまいりました。しかしながら昨年の平成の大合併により「飯塚市」「嘉麻市」「桂川町」という2市1町の枠組となり、新行政はスタートを切りました。我々Jayceeは、まずはローカルマニフェスト型公開討論会の開催した市長による公約の検証作業に取り組みます。それからあらゆる角度から新たな故郷の特性を創造致します。この先まちは更に大きく変化します。新しい道路一つで人の流れは変わり、道州制導入時における県央地域のポジショニング等々、無限の可能性に向かって我々Jayceeは常に先頭を走っていくべきです。しかしながら青年が青年らしく若くはつらつと行動を興す「まちづくり」は合併によるものばかりではなく、青年「今」だから出来る発想と行動力、我が故郷を愛する心と我が故郷に未来を託す心をもって、光り輝く未来を創造していくという強い決意で故郷創造に取り組んでいきます。

百年後の未来人
これから百年後の世界を想像した事がありますか。これから十年後、三十年後位までは、生活設計として想像出来るでしょうが、必ず訪れる百年後に夢と浪漫を抱きたいものです。百年前1907年の日本は明治40年でした。ヒット商品は鳥の子たわしで、フランスではヘリコプターの初試乗が20秒でした。百年後の2107年とはどんな世界になっているのでしょうか。現在日本は、行政・経済・教育・雇用更には伝統・礼節・コミュニケーション等々、時代の大変革に歯止めがなく、全国では毎日、驚愕するような、又は理解し難い犯罪が頻りに起きます。我々Jayceeは今を生きる者としての責任と義務をもって、グローバルな観点から、今一度自分自身を見つめ直し、そして百年後の未来を更に切り開く未来人に「今」を生きるという事を共に語り、共に学び、22世紀の扉を開く未来人創造に取り組んでいきます。

美しき故郷
幼少より故郷には種波川があり、竜王山があり、ボタ山があります。変わったのはボタ山が緑になった事で、今も昔も故郷の景色はさほど変わりません。生活の基盤である故郷には住み心地の良さを感じながら故郷を愛する心があります。しかしながらこの大変革のとき、未来に全てを託す事に不安を覚えます。真の活気溢れるまち、笑顔溢れるまち、元氣溢れるまち、人と人が行き交うまち、そんな「美しき故郷」は今この時私たちの腕の中にあるはず。県央地域のインフラ整備、学園都市、IT特区、新幹線駅開設目標等々を視野にいれ、いつまでもいつまでも住みたいなるまち、最後の最後まで思いが暮るまち、故郷未来図を故郷の方々と共に描くのが我々の使命だと考えます。例えば数千人の山奥でも活気に充ち溢れるまちもあれば、百万都市で活気に充ち溢れるまちもあります。Jayceeは市民・町民の意識変革運動(市民・町民によるまちづくりムーブメント)の担い手となりうる存在だと強く意識します。自らの未来は自らの手で切り開こう。

J C活動の源
青年会議所は20歳から40歳までという期限付の青年団体です。活動は全てまちづくりに繋がると思われ行動を興します。そのまちづくりは故郷を愛する心と未来を託す心があればいつまでも続くものです。その為にも40歳までという期限付のなかで志を同じうする仲間をより多く集う必要があります。「まちづくりは、ひとつづくり」とは同時進行であると考え、青年会議所の未来不変のテーマであります。様々な角度から、より多くの考えを引出しあらゆる可能性にチャレンジしていく、そしてその意義や過程、効果よりスピーディに発信する事が現代社会では必要不可欠であります。その為にもまずは「JCだから、JCにしか」出来ない事を「普段より少し無理を」して修練・奉仕を興し、友情を育み、真の会員相互の交流に繋ぐ広い視野を持たなければなりません。40歳までの期限付の団体であります。全力疾走して最後に「JCに入って良かった」と言えるように・・・

創立55周年・福岡ブロック会員大会誘致に向け
今年で(社)飯塚青年会議所は創立54周年を迎えます。更なる60周年に向け来年55周年は大事な礎となる年としなければなりません。現在若いメンバーが多数を占めている(社)飯塚青年会議所は、これまでの歴史を築き上げられた先輩諸氏、地域の皆様、他地域の数多くの仲間達に感謝し改めて(社)飯塚青年会議所の一員であるという自覚と責任をもって行動を興す必要があります。また今現在、光り輝く未来を創造していく、次代を担う青年が多数を占めています。そしてJayceeが若くはつらつと行動を興す、それだけでまちに活力を人に勇気を与える事が出来ます。その為にもより多くの宝物が転がっている2008年度福岡ブロック会員大会誘致活動を大胆に興し、大成功へと導きます。

夢 浪漫 感動
手と伸ばせば届く事は夢ではなく
簡単に出来る事は浪漫ではない
自らに嫌を引かずに、突っ走ってみよう
そして、あなた自身が感動と与えてみよう
全ては光り輝く未来の為に・・・

Jayceeづくり委員会 委員長 古田 明裕



はやいもので21世紀になって数年が経ち、私たちを取り巻く環境は大きく変化し、生活は大変便利になり経済的にも豊かになりました。しかし、私達の目に飛び込んでくるニュースは目を覆いたくなるような残忍な事件が多く、人として必要な心の豊かさがなくなりつつあるように思います。こんな世の中だからこそ、未来に向かって夢と浪漫を持ち努力する事が必要ではないでしょうか？
そこで、当委員会では、飯塚市民祭である山笠を通じて、地域社会の方々と共に一つの事業を作り上げるため切磋琢磨することにより、夢や浪漫を持つ「POWER PEOPLE」を育てることを目標とします。
また、私達の委員会は新入会員が初めて属する委員会です。JCって何だろう？どんな事をするんだろう？入会した頃は私達もこんな思いを少なからず持っていたのではないのでしょうか？明確な答えをだせる問ではないと思いますが、当委員会ではまずは、率先して色々なJC活動に参加する事、そしてメンバーは勿論の事たくさんの方々とお会い行動する事で、自分なりの答えをだすものと考えています。その為に 新入会員の方には現メンバーと協力し、自ら積極的に行動して事業を行うことで、自分なりのJayceeの礎を築いてもらえると同時に、未来へむかって行動できる「POWER PEOPLE」になってもらえると確信いたします。

夢浪漫故郷づくり委員会 委員長 谷口 正知



今、日本は変革の時を迎えています。昨年の平成の大合併に伴い私たちの故郷も例にもれず、二市八町から二市一町へと枠組みが変わりました。私達は豊かで何不自由な生活を過ごしています。しかし、そこで暮らしている人々の心まで本当に豊かになっていくのでしょうか。故郷に対して夢や浪漫を持って、故郷に対する想いが希薄になりつつあるのではないのでしょうか。理想の故郷実現には、住民一人ひとりが他人まかせではなく「自分たちのまちは自分たちで創る」という意識を持たなければならないと考えます。その為には自分たちがまちを創っているということを実感できるように、身近なことから取組み私達の意識を高めると共に住民自身の意識を

高めていきます。
住民自身が今後の故郷を創っていく為に、この地域の住民全てが思い描く故郷未来図とは何かを地域の方々と共に考え、まずは近い将来を見据え、それから次世代に繋げていけるような夢浪漫あふれる新たな故郷となる為の事業を行ってまいります。この事業をすることで今後の方向性、発展の可能性を引き出し、私たちの故郷のさらなる可能性を拓いていけると確信します。また、昨年度(社)飯塚青年会議所は地域リーダーを選出する市長選に合わせ、候補者の政策を重視し投票する市民に新たな判断基準を提供するべく、ローカルマニフェスト型公開討論会を開催し、この討論会により行政が身近に感じられるようになりました。本年度私たちはこの事業を一時的なもので終わらせることなく、マニフェスト推進を前提にした公約の検証作業に取り組みます。

未来人創造委員会 委員長 久保 頼貴



目まぐるしく変化する現在、青少年達が素直に夢や浪漫を持つことができる時代といえるのでしょうか。不登校、いじめ、ニートの増加など、私たちの目や耳に飛び込んでくるのは、夢のないニュースばかりです。このままでは、次代を担うべき青少年達の未来は、想像を絶する夢のない未来になってしまわないかと懸念します。しかし、私たち大人自身、夢や浪漫を叶えるために努力する姿を見せず、最初から諦めてしまっているという状況が少なからずあるのではないのでしょうか。それでは、子ども達に夢や浪漫を持って欲しいなどと言えるはずありません。

そこで、私たち未来人創造委員会では、この状況を少しでも良くする為、今、未来を切り開く若者たちに、必要なのは、夢や浪漫を叶える為に、何ごとにも諦めず、投げ出さない、自分自身に打ち勝つ強い心、POWER(パワー)を持つ事だと考え、POWER YOUTH (パワー・ユース)「力ある青少年」を合言葉に、共に感動できる活動を通じ、22世紀の扉を開き、次世代にも通じる未来人創造に取り組んで行きたいと思ひます。

総務情報発信委員会 委員長 小山 寛



私たち社団法人飯塚青年会議所は、53年間もの長きに渡りまちづくりに取り組んできました。その間、途切れることなく人と人が繋がって現在のまちがあります。百年後も今と同じ様に、夢・浪漫を語り、感動を共有できる仲間を繋げていく責任が、今を生きる私たちにはあります。そこで、引き続き本年度もさらなる会員拡大に取り組み、新たなPOWERの加わった会議所活動内容をメールマガジンにて発信し、その他の情報もホームページにて掲載します。また、総会の運営・管理はもとより総務関係諸業務においても、正確かつ確実に実施し、時代の変化に沿った考えのもと定款並びに諸規定の研究及び見直しを図ります。

JCI 2007年度 会員紹介

 理事長 内藤修也 (株)内藤園	 直前理事長 林田賢一 林田コンクリート工業(株)	 副理事長 久保井英樹 (株)クボイ	 副理事長 清水大輔 (有)カーポター飯塚
 副理事長 西野幸彦 西野土地家屋調査士事務所	 副理事長 福永隆一 (有)花のフクナガ	 専務理事 野上英敏 (株)のがみ	 常任理事 多田 勉 (株)多田組
 常任補佐 溝口栄仙 一本松保育園	 事務局長 榎木雅人 (株)サンテック	 監 事 赤間秀樹 赤間登記測量事務所	 監 事 西田 陽 (株)西田建設
 監 事 室井秀行 (有)室井自動車工業	 ブロック会員大会 誘致特別室 室長 田中堅治 (株)福岡シービー	 ブロック会員大会 誘致特別室 副室長 江藤晃輔 (株)エトウ時計店	 ブロック会員大会 誘致特別室 有田栄公 有田電気情報システム(株)
 ブロック会員大会 誘致特別室 金内 豊 Choco Chip	 ブロック会員大会 誘致特別室 湊谷一弥 (有)酒のみなとや	 ブロック会員大会 誘致特別室 山室 透 親和塗料	 光り輝く未来特別室 室長 大里 至 大里酒造(株)
 光り輝く未来特別室 委員長 中野良一 正和建設(有)	 光り輝く未来特別室 副委員長 藤木秀憲 フジキ印刷(株)	 光り輝く未来特別室 桑野慎吾 (有)桑野電気工事	 光り輝く未来特別室 椿 重之 (株)中本不動産
 光り輝く未来特別室 野中重司 光代自動車整備工場	 光り輝く未来特別室 福澤文聰 銀翼タクシー(株)	 光り輝く未来特別室 森 浩昭 (株)玉置	 光り輝く未来特別室 矢野公仁尚 央几石油
 光り輝く未来特別室 山本敬介 やまもと寿司	 例会委員会 委員長 國米征吾 (有)インテリアコクマイ	 例会委員会 副委員長 犬丸正嗣 犬丸損害保険事務所	 例会委員会 白石義忠 (有)白石石油店
 例会委員会 中島秀幸 飯塚信用金庫	 例会委員会 長岡敦史 (株)ジェイ・イー	 例会委員会 長野剛士 三秀舗道(株)	 例会委員会 畑中規一 (有)荒木食品産業
 例会委員会 丸目雅宏 (有)Q'zダイニング	 例会委員会 美林直樹 居酒屋でぶしょう	 三人行事委員会 委員長 今井 光 ハート歯科クリニックいまい	 三人行事委員会 副委員長 下川哲也 (有)ぱっぷDining



IIZUKA
Junior Chamber
MEMBER

社団法人飯塚青年会議所

**青年会議所は20歳から
40歳までの情熱ある
青年の団体です。**

青年会議所(JC)は“明るく豊かな社会”の実現を理想とし、時代の担い手たる責任感を持った20歳から40歳までの、指導者たらしとする青年の団体です。私たちは現在、国内750余りの都市に6万人余りの会員を、全世界114カ国地域に22万人余りの会員を擁しています。青年会議所の事業目的は“社会と人間の開発”です。私たちは市民社会の一員として、市民の共感を求めて社会開発計画に基づいた活動を行い、「自由」を基調とした民主的な指導能力の開発を推し進めています。

会員募集

**(社)飯塚青年会議所は、
あなたの力を求めています！**

私は、青年会議所について聞かれた時「青年会議所はまちづくりとひとづくりを行う団体です」と答えています。このような答えに「公園を掃除したり、ベンチを置いているのですか？」と思われることが多いようです。青年会議所はこのように考えています。家庭・学校・企業等、これらは全て「ひと」によって成長して行きます。そして、私達の生活している「まち」も「ひと」によって構成されています。青年会議所は40才までの団体であり、そのわずかな時間の中で「まちづくり」を行うことは大変難しいことです。しかし、いろんな事を経験し、体験することで「私」という「ひとづくり」を行い、「豊かな考え」のできる「ひと」に成長すれば、それが「豊かなまちづくり」につながるのです。青年会議所の活動は「もの」をつくる町づくりではなく、「ひと」をつくる町づくりです。青年会議所とは40才までにやり遂げる団体ではなく、入口なのです。

●対象者● 飯塚市、嘉麻市、桂川町に住所または勤務先を有する20才から37才の健全な方であれば男女を問いません。詳しくは下記までお問い合わせ下さい。

新入会員より一言



2006年度新入会員
犬丸正嗣
犬丸損害保険事務所

学校を卒業し、社会に出て自立し、自分の事だけで精一杯。そんな自分に、先輩から「JCはいつてみらんね？」と、言われた。僕もいい歳になり、いまさら…照れくさいと思ったが入会。一言「たまがった！」
そう、気づかされ、自分が「井の中の蛙」であった。社会に出てから、感動することが少ない。しかし、「JC」には、熱くなれる何かがある。その何かは、メンバーと共に時間を共有し、活動の中に潜む。客観的に見ていたJCを、活動を通じ、先入観が吹っ飛び瞬間である。自分の目で、耳で、肌に感じ、考え、答えをだす。その答えは、自分への生き様のスパイスとなっている。



創立記念



新春祝賀会



忘年会

地域開発委員会

■ 委員長/久保井英樹 ■ 副委員長/西竜太郎
■ 委員/安部幸剛・石原孝司・太田常晴・下野雅芳・野上早規・船越知樹 ■ 事業室室長/西田 陽

(社)飯塚青年会議所

〒820-0017 福岡県飯塚市菰田西3丁目18-11 TEL 0948-23-0292 FAX 0948-24-3471
E-mail info@iizuka-jc.com URL http://www.iizuka-jc.com/